



またかた 社協だより

よろこび多いまちづくり

vol.42

平成29年
2月1日号



家族介護者 交流事業

～心も体もリフレッシュ～

この事業は在宅介護者の皆さんに心身ともにリフレッシュしていただくことを目的に毎年開催しています。

今年度はおむつ工場の見学、鮮魚ショッピング、研修会などを行いました。

参加された皆さんは、お互いの介護について話し合い、同じ悩みを抱えている方との情報交換、日ごろから抱え込みがちな介護についての不安や悩みを解消し、交流を深めました。



主な内容

- 第12回喜多方市社会福祉大会
表彰・児童生徒の福祉作文 …… 2～5
- ふれあいだより・センター展のお知らせ 他 …… 6・7
- 共同募金・歳末たすけあい募金御礼 …… 8
- よらんしょネット …… 9
- 生活サポートセンター他 …… 10
- ほっとNEWS・寄付報告 …… 11
- 介護者教室のお知らせ・介護の職場体験事業・
活動センター会員募集 …… 12

Facebookもチェック



第12回 喜多方市社会福祉大会

今年で12回目を迎えました喜多方市社会福祉大会は、平成28年11月22日(火)、来賓の方々、市内の福祉事業関係者、市民の皆様等、四百名を超える方々に参加をいただき、盛大に開催しました。

大会席上では、喜多方市の社会福祉向上並びに、共同募金運動に貢献された個人、団体にそれぞれ、表彰状、感謝状が贈られました。

また、市内小中学校生から募集した「福祉作文」の優秀作品5編の発表も行われ、次世代を担う児童生徒の福祉に対する考

え方や思いに参加者の皆さんも感心して聞いていました。

記念講演は、公益財団法人さわやか福祉財団会長の堀田力氏をお招きし、「みんなで支え合う地域をつくるのは、今」と題し、超高齢社会を迎えた日本において、地域の支え合いにより生きがいを持って健やかな生活につなげるための方策について、貴重なお話をいただきました。この大会を契機として、福祉のまちづくりの推進を図ることを参加者一同誓い合いました。



【社会福祉大会会長表彰】
多年にわたり地域福祉の充実に
尽くされた方・団体
原 澤 紀 雄 様
修養団山都愛汗の会 様

【社会福祉大会会長感謝】
社会福祉事業を理解し多額の寄
付をされた方
唐 橋 秀 子 様
山 本 豪 様
佐 野 圭 一 様
昭和電工株式会社喜多方事業所 様

【福島県共同募金会長感謝】
共同募金運動を理解し、平成
27年度において多額の寄付を
された方
五十嵐 英 子 様
刃 米 次 郎 様
神 田 香 様
鈴 木 孝 子 様
須 藤 俊 一 様
塚 原 ハルイ 様
東 條 貞 一 郎 様
若 狭 光 子 様
渡 邊 寅之助 様
会津喜多方ライオンズクラブ
会津塩川ライオンズクラブ
会津よつば農業協同組合
いいで地区本部
喜多方市ボランティア連絡協議会
医療法人昨雲会職員一同
㈱サクマコーポレーション
塩川町赤十字奉仕団 様
(社)南町報徳社 様

【福島県共同募金会長感謝】
学校や街頭などで募金運動を行
うなど、平成27年度において多
大な貢献をされた団体
喜多方市立 第一小学校 様
第二小学校 様
松山小学校 様
上三宮小学校 様
第三小学校 様
関柴小学校 様
熊倉小学校 様
豊川小学校 様
慶徳小学校 様
熱塩小学校 様
加納小学校 様
山都小学校 様
高郷小学校 様
第一中学校 様
第二中学校 様
第三中学校 様
会北中学校 様
山都中学校 様
高郷中学校 様
喜多方高等学校 様
耶麻農業高等学校 様
ガールスカウト福島県第17団 様
喜多方仏教会 様
山都町赤十字奉仕団 様



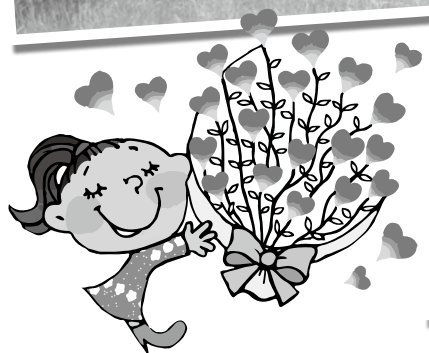
児童・生徒の福祉作文集

「ちいさなて」優秀作品のご紹介

喜多方市社会福祉協議会では、次世代を担う児童・生徒の皆さんの福祉への理解と関心及びボランティア精神を育むため、市内の小中学校をボランティア活動普及事業協力校として指定し、各学校ごとに行われる福祉教育を支援しています。

こうした学校のボランティアや福祉活動及び地域や家庭での福祉体験を通して、日頃から感じていることなどを子どもたちの目線で綴った福祉作文をまとめ、児童・生徒の福祉作文集「ちいさなて」として発行しており、社会福祉大会にて来場者へ配布しております。

以下の作文5編は平成28年度の「ちいさなて」より優秀作品として選考され、11月22日に開催された「第12回喜多方市社会福祉大会」の席上で発表されたものです。



小学生の部 優秀作品

緑の少年団活動



喜多方市立第一小学校
六年 樋口光太郎

「今日も、花だんがきれいになるようにがんばるぞ。」

ぼくは、その気持ちで緑の少年団委員会の活動をしています。

ぼくが、緑の少年団委員会に入ろうと思った理由は二つあります。一つ目は、まだ育てたことのない花を育ててみたいと思ったからです。二つ目は、自分も学校の役に立ちたいと思ったからです。

四年生から、三年間続けています。四年生のときは、毎回行うことがなかなか出来ませんでした。今年は花の水やりや、草むしり、花の名前が分かるようなプレート作りや、緑の募金を集めたりしました。六年生になって、下級生に今までにやってきたことを伝えて、みんなで花だんの整備をしています。

育てている花が成長したり、先生方に「おつかれさま。」と言葉をかけていたりして、やりがいを感じています。

「学校に来てくださるみなさんにきれいだと思っていただける花だんを作ろう」と思いながら活動しています。

活動していて、一番大変なことは、花の水やりです。広い花だんに、じょうろ

で水をやることは時間がかかりますが、みんなで手分けをして行っています。次に、草むしりも大切な仕事です。毎日行っても、生えてきて大変ですが、何度ぬいても生えてくる生命力を感じ、すごいなあとも思います。

今年の花だんは、一つ一つの花が大きく育ってたくさん種類の花がさきました。中でも、マリーゴールドがきれいにさきました。種を取って、秋には全校生に渡します。家でもきれいなマリーゴールドを育ててもらえたらうれしいです。

緑の少年団の活動を通して、みんなのために活動することの楽しさやうれしさを感じることができました。これからも、みんなのためにボランティアを続けたいです。



目立たない仕事



喜多方市立第二小学校
六年 和知 駿

ぼくのお父さんは、あまり目立たない仕事をしています。でも、ぼくはお父さんの仕事を尊敬しています。

お父さんの仕事は、道路パトカーの運転です。道路に落ちているゴミや大きな枝を拾うのが仕事です。昼間は車が多いので、夜に活動することが多いので、あまり人の目にふれません。また、冬は除雪車の運転もしています。大雪になると、真夜中や、すごく朝早くに仕事に出かけます。

ぼくは、ある日お父さんに聞いてみました。

「お父さん。お父さんの仕事はあんまり目立たないよね。」

お父さんは、ぼくを見て真剣な顔をしましたが、すぐに「ニコニコしながら、

「駿。みんなの役になる仕事なんだよ。」と話してくれました。

ぼくは、お父さんの話を聞いて、お父さんの仕事を見に行ってみました。お父さんや仲間みなさんは、夜おそいのに一言もしゃべらないで、もくもくと仕事をしていました。お父さんたちが道路をきれいにしてくれているから、みんな事故もなく安全に走行できるのもすごいと思いました。ぼくは、「お父さんはすごい。ぼくも、お父さんの仕事みたいに、あま

り目立つわけじゃないけど、人の役に立つ何かをやりたい、仕事をしたい。」と、思いました。そして、その日から何かできないかなと考え、小さくてもいいからボランティアをすることに決めました。

ぼくが今やっていることは、家ではゴミの分別の仕事をしています。燃えるゴミ、燃えないゴミ、プラゴミ、古紙、ちらし、新聞などいろいろなものを分別しています。分別して出すことが地域のためだと思ったからです。

また、特にがんばっていることは、地域のゴミ拾いや川ぞいのゴミ拾いです。なぜ力をいれているかというと、国語の学習で調べたように動物にもよくないし、環境問題にもよくないとわかったからです。でも、一番の理由は、この町をきれいにして、人の役に立ちたいと思ったからです。

以前ゴミを拾っていた時に、通りすがりの人に

「きれいにしてくれて、ありがとう。」

と言われたことがあります。すごくうれしかったです。

「お父さんの言っていた、人の役に立つ仕事をすると、こんな気持ちになれるんだ。」と改めて思い、さらにお父さんを尊敬することができました。

ぼくは、これからも、すごく小さくても、目立たなくても、人の役に立てるようなことを続けていきたいと思っています。いつか尊敬するお父さんの仕事も引きつがたいです。

伝統をつなぐ

ボランティア活動



喜多方市立慶徳小学校
六年 長谷部 優

「ボランティア活動」という言葉から、何を想像しますか。

募金すること、困っている人を無償で助けること、福祉の仕事。わたしは、このくらいしかイメージできませんでした。つまり、ボランティア活動を身近に感じたことがなかったからです。しかし、今年になって気付いたことがあります。

わたしの住んでいる慶徳町は五穀豊穡を祈って、七月の半夏生の日に行う「お田植え祭り」が有名です。五百年以上の歴史のある伝統行事です。その行事にわたし達は参加しています。男子は田植え歌の横笛や行列の役、女子は稚児や巫女、早乙女役です。お祭りに向けての練習は五月から始まります。男子は横笛が難しいです。音楽の授業で使うリコーダーとは違い、音が出るようになるまでが「苦勞」。音が出た後も、息を長く出し続けなければならぬので、すぐに息苦しくなるそうです。男子は「酸欠になる」と悲鳴をあげながら練習しています。女子は早乙女踊りの練習です。男子のように体の苦痛はありませんが、指先まで神経を行き渡らせ、しなやかに踊るのが難しいです。視線も大切です。単調な動きだからこそ全員の動きが合わないと、優雅な踊りにはなりません。男子の中には、練習に飽きて、ふざけたり手を抜いたりして

地域の方を困らせてしまつ人もいました。

しかし、手取り足取り熱心に教えてくださる地域の方々にはボランティアなのです。時間をやりくりして約二ヶ月の間、指導に来てくださいます。本番の日は着付けもしてください。全てボランティアです。わたしは今までボランティアは身近なものではないと思っていましたが、違いました。毎年、わたしたちの身近に存在していました。

今年は県の芸術祭と慶徳町の敬老会で早乙女踊りを発表しました。二週続けての行事で、日曜日が自由に使えないという日程でした。でも、不満より達成感の方が大きかったです。特に町の敬老会は、ステージと客席が近いので、お年寄りの方々が真剣になって見て下さっているのを間近で感じました。

終わった後はいろいろな方からほめていただきました。

わたし達にとつては休みを返上してのボランティアでしたが、「人のためにやる」という気持ちとは別の気持ちがわきあがりました。それは、わたしたちの発表を喜んでくれる人がいてうれしい、自分が地域の一員として伝統を受け継ぐことができてよかったという気持ちです。わたしはボランティアとは他人や社会のために行うものと思っていました。実は自分のためにもなっていることが分かりました。そして伝統文化を次の世代につなぐために協力してくださる地域の方に感謝したいと思いました。伝統をつなぐためにはボランティア精神が必要なのかもしれません。将来わたしが慶徳小学校に早乙女踊りの講師として来るこ

ワタシにもできる

ボランティア



喜多方市立第二中学校
三年 外崎 瑛美

ここ最近、自然災害が多発しているように感じる。地震や洪水、土砂災害などの報道をテレビでよく見る。被災した人々はいつも、不安な様子が見てとれる。被災して住居がない、食べ物がない、水道・電気が通らない。そのような不便な生活を助けることができるのがボランティアである。

ボランティアというと、テレビでがれきの片付け、支援物資の提供、炊き出し、募金などを見たことがある。私が住む喜多方市は災害をほとんど受けたことがないので、直接活動を見たことはほぼなかった。そのため、ボランティアは誰かがやってくれる、と少し他人事に捉えていた。でも、いつかは自分も力になれることをしたいと考えていた。

一学期、喜多方二中ではボランティア委員を中心に熊本地震の募金を行った。クラス全員が一円からでも募金することを目標に行われ、ほとんどのクラスで目標を達成することができた。

募金は、一人が少しの金額だったとしても皆の分を合わせると大きな金額になる。一人一人の協力があってこそ、被災した人々を助けることができる。これまで、ボランティアというと被災地などへ出向いて活動してくるイメージが強かった。しかし、募金ならばコンビニやスーパーといったよく行く場所でも実施され

ている。だから、最初はそういった身近な所から始めていけばいいと思った。私は、人を助けることに喜びを感じるし、助けることによって生まれる笑顔を見るのが大好きだ。やってよかったと思うし、みんなが幸せでいてほしいと思う。だから、これからは小さなことからでもボランティアを始めようと思っている。

そして最近、復興イベントに関するボランティア活動の様子をテレビで見た。それは、ボランティア活動をする有名なアーティストが集まるライブに参加できるというものだ。私はそれを見て、とてもいい案だなと思った。ただボランティアをして活動終了というよりは、頑張った後にライブがあるという楽しみがあると自然とやる気が出る。自分も楽しめて、被災地の役にも立てる。最近はボランティアの集まりがよくないと聞くので、今後このような企画を増やしていけばもっと協力してくれる人が増えると思う。

地震大国日本。多くの台風が上陸する日本。この先誰が、いつ、どこで被災するか分からない。もし、自分がそうなったら誰かに手を差し伸べてほしいと思う。人々は助け合い、互いに支えあって今を生きているかのように思う。だから、今日近所のおばちゃんに挨拶してみよう。道端に落ちていた空き缶を拾おう。きつとそんな小さなことが生きる希望になったり、誰かのためになると思う。そしてそれは、いつか自分のためにもなるはずだ。みなさんも、もう一度ボランティアについて考え直してみよう。今から始めよう、小さなボランティアからでも。

ボランティアに参加して



喜多方市立塩川中学校
三年 佐藤わか菜

私は、夏休みに三日間、サマーショールボランティアスクールという介護のボランティア活動に参加してきました。このボランティア活動は、デイサービスを利用しての方への介護のお手伝いをしました。

最初に参加したのは、小学校三年生の時でした。その時は、夏祭りが楽しそうだなという思いだけで参加したのですが、利用者の方たちとお話をしたり、お手伝いをしたときに「ありがとう。」と言われたことがとてもうれしくて、この時初めて「介護士」という職業に興味を持ちました。

今年の三日間の活動は、デイサービスの介護のお仕事の手伝いをさせていただきました。私は三日間それぞれに目標を立てて取り組みました。

一日目は「多くのことを学び吸収する」、二日目は「目標を合わせて笑顔で話す」、三日目は「笑顔で会話できるようにする」です。毎日、所員の方から、アドバイスをいただきました。利用者の方と目標を合わせることはよりよいコミュニケーションを図るために大切であること。笑顔で会話するためには、共通の

話題を見つけることで、相手の緊張がほぐれること。そうすると、自然に笑顔があふれるようになることなど、多くの経験と大切なことを学ばせていただきました。

私の家は核家族です。今までお年寄りの方と接する機会がほとんどありませんでした。このボランティアに参加し、お年寄りの方と触れ合うきっかけができました。この体験を通して、介護という職業に興味を持ちました。また、人と接する難しさ、介護を仕事として行う厳しさも少し味わうことができたと思います。そして最後に利用者の方々から、お手伝いの私たちにも感謝の言葉を頂き、笑顔になっていく利用者さんの表情に仕事のやり甲斐を感じることができました。

何となく、介護の仕事がしたいという私の将来の目標はさらに強くなってきました。また、介護を必要としている方々へ、介護だけでなく、より深い関わりを持ちたいとも思いました。専門的な知識や技能を身につけるために、新たに看護師という職業にも興味を持ち始めてきています。

私は、今回のボランティア活動での経験を活かし、中学校卒業後、患者さんに接したり、介護のお仕事に携われるように、看護師や介護士になることを目標にして、自分の夢に少しでも近づくことができるようにがんばっていききたいと思います。



喜多方 地区

しっかり備えよう

10月5日、喜多方市総合福祉センターを利用していた皆さんにもご協力いただき、火災を想定した避難訓練を実施しました。職員は役割分担をして119番通報から初期消火、館内放送、避難誘導、安否確認までの一連の訓練を行いました。

また、水消火器を使用した初期消火訓練も行いました。日頃から定期的に実施することで、冷静でスムーズに対処できるよう備えていきたいと思います。



熱塩加納 地区

『団子さし』たのしい～



小正月行事を体験する『団子さし』が1月11日夢の森で行われ、12人の親子が参加しました。

この日は赤十字奉仕団のみなさんのご協力で、子どもたちに団子さしの意味などをわかりやすく説明しながら、団子や飾り物を飾っていました。子どもたちは、粉まみれになってつくった団子を、「たのしいね」と話しながら、飾り付けに夢中になっていました。

塩川 地区

ペットボトルキャップで、子どもたちにワクチンを!!

“地球に愛を 子供たちに愛を「小さな親切」として 会津塩川ライオンズクラブが、塩川小・中学校、湯川村小・中学校、主要施設等と協力し取り組んでいるエコキャップ事業より、381.2kg(163,916個)ものエコキャップが寄せられました。今回、寄せられたエコキャップは約190人分のポリオワクチンとなり、発展途上国の子どもたちへ寄贈されます。



お知らせ - INFORMATION 1 -

高齢者生産活動センター展のお知らせ

センター会員作品の展示販売とあわせ、入会を希望される方などに活動体験をしていただく機会を設けました。施設見学を兼ねセンター展に是非おいでください。

問い合わせ・申込先

体験希望者は事前に
下記へ連絡をお願いします。

喜多方市高齢者生産活動センター

☎0241-24-2297

鈴木・小林まで

開催期間

平成29年3月7日(火)～10日(金)の4日間

場 所

喜多方市高齢者生産活動センター施設内
(岩月町宮津字火付沢3567-1)

時 間

午前10時～午後3時

内 容

作品展示および、販売、体験教室

【展示・販売】 期間中自由にお越しください。

【体験教室】 午前10時～午後3時(生産活動センター内)



グループ名	体験料(材料代)	体験者受入人数/内容
陶 芸	1,100円	毎回10名/皿・丼・花瓶など
手 芸	600円	毎回5名/吊るし飾り(布) など
織 物	700円	毎回5名/裂き織りのテーブルセンター
押し花 絵	600円	毎回5名/ブローチ作り
わら工 芸	500円	毎回5名/輪べ、長べ縄



ふれあい

高郷地区

一人暮らし高齢者等の小旅行と買い物サポート

12月20日、高郷地区のふれあい福祉協議会と高郷町民生児童委員協議会との合同で実施している「一人暮らし高齢者等の小旅行と買い物サポート」事業で柳津町へ行きました。

齋藤清美術館の見学と福満虚空蔵菩薩圓藏寺を拝観したあと、昼食とお買い物を楽しみました。皆さんは「たまには出かけないと元気も出ないし足腰も弱ってしまう。またのお誘い待っていますよ!」と喜んでおりました。



山都地区

一人暮らし高齢者外出支援事業「ぶどう狩り」



10月7日、山都町内の一人暮らし高齢者を対象に実施している外出支援事業「ぶどう狩り」を喜多方市松山町にある京野ぶどう園で実施しました。参加された皆さんはぶどう狩りを行ったあと、たくさんのお土産のぶどうも購入していました。喜多の郷で昼食を食べたあとは、日中ダムを見学して帰路につきました。天候にも恵まれ、秋めく良い1日となりました。

平成28年度

除雪ボランティア事業

本協議会では民生児童委員協議会と共催で、市内全5地区での除雪ボランティア事業を実施しています。

この事業は、一人暮らし高齢者宅の除雪活動を行うことにより、除雪作業の負担軽減と、中学生・高校生等のボランティア活動に対する理解を深めることを目的とし、各関係機関と連携して行います。

今年度の日程は下記のとおりです。



※今後の降雪の状況により、中止される場合もあります。

実施地区	日 程
熱 塩 加 納 地 区	平成29年2月 4日(土)
山 都 地 区	平成29年2月11日(土)
高 郷 地 区	平成29年2月18日(土)

※喜多方地区・塩川地区においては1月に実施しました。

陶芸教室開講のご案内

塩川支所・山都支所では、陶芸教室会員を募集しております。会員同士の楽しいおしゃべりはもちろん、土の感触を楽しみながら、それぞれ思い思いの作品づくり。

形や釉薬によって、同じ作品が出来ないのも陶芸の醍醐味。

一緒に生きがい健康づくりを目的に趣味を広げてみませんか?



募集期間 平成29年2月1日～3月31日

開講期間 平成29年4月下旬～11月下旬

(開講後、見学してからのお入会も可)

会員資格 概ね55歳以上で喜多方市在住の方



問合せ・申込みは下記まで
お願いいたします

喜多方市社会福祉協議会

塩川支所

☎ 0241-27-3948

山都支所

☎ 0241-38-3100

赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

御 礼

今年で70周年を迎える赤い羽根共同募金運動が10月1日より全国一斉に展開されております。

福島県共同募金会ではボランティア団体やNPO活動の支援のための「地域課題解決型募金」を3月31日まで引き続き展開しておりますが、本市におきましては、市民一人ひとりの善意や、関係各位の多大なるご協力を賜り、本年度の募金活動を無事に終了することができました。

皆様には、赤い羽根共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動へお寄せいただいた寄附金は、地域で援助を必要としている方への激励や、地域の社会福祉の増進のための活動等に役立てられます。

今後皆様様の善意を様々なかたちで、地域に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、自分の町を良くするしくみである共同募金運動への変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年2月

喜多方市共同募金委員長
喜多方市社会福祉協議会長

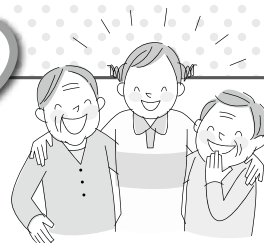
武藤 顕夫



平成29年1月20日現在

地 区	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
喜 多 方 地 区	4,558,665円	1,819,062円
熱 塩 加 納 地 区	436,409円	579,505円
塩 川 地 区	2,135,605円	1,160,530円
山 都 地 区	800,227円	609,741円
高 郷 地 区	379,104円	278,500円
合 計	8,310,010円	4,447,338円

“よらんしょネット”



喜多方市地域包括支援センターだより

元気を応援!!

あなたの街の
「喜多方市地域包括支援センター」

お気軽にご相談ください。

TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための拠点です。

市役所、介護サービス事業所、病院、警察署など関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。



冬に起こりやすい

家庭内事故に注意

年を重ねると、私たちの体には「視野が狭くなる」「筋力低下」などの変化が起こり、転倒をはじめとしたさまざまな事故に遭いやすくなります。

家庭内に危険な所はないか、もう一度見回してみましょう。

浴室



●ヒートショック

急激な温度変化により、血圧が大きく変動し心筋梗塞や脳梗塞、失神など引き起こす。

居室



●転倒

段差でつまずく、こたつ布団、コードに引っかかる。

寝室



●低温やけど

湯たんぽ、電気毛布、あんか等によるやけど。

事故への 対策・予防をしましょう

浴室

- ◆脱衣場や浴室を暖めて、室内の温度差をなくす。
- ◆入浴前に浴槽のふたを開けておくのも効果的。

居室

- ◆部屋の中で自分が通るところに物を置かない。
- ◆こたつ布団、カーペットの端には十分注意し、電気コードは整頓しておく。

寝室

- ◆布団が暖まったら湯たんぽは出す。
- ◆就寝時のカイロの使用はしない。

転倒しない 体づくりをしましょう

転倒の危険を避けるためには
体力やバランス機能の維持が大事

- ①いすから少し離れて立ちます。両手でいすの背をつかんで、上体だけ45度ほど前に傾けます。
- ②ひざが曲がらないように、片方の足をゆっくり後ろに上げます。
- ③そのままの状態を1秒間保ちつづけた後、ゆっくりと元の姿勢に戻します。



生活サポートセンターからのお知らせ

教育支援資金貸付のご案内

福島県社会福祉協議会では、進学にあたり経済的に困りの方に生活福祉資金の『教育支援資金』をお貸ししています。現在、在学中の方もご利用になれます。

●ご利用いただける世帯

収入が一定基準以下(おおむね市民税非課税程度)で他からの融資を利用することが困難な世帯など。



貸付種類	対象経費	貸付限度額
教育支援費	◆就学に必要な経費 授業料、参考書、学用品、交通費(通学定期)、賃貸アパート家賃など(食費、光熱費等は原則として貸付対象外となります)	高等学校 …月額 35,000円以内 高等専門学校 …月額 60,000円以内 短期大学 …月額 60,000円以内 大学 …月額 65,000円以内
就学支援費	◆入学に際し必要な経費 入学金、制服、教科書等入学時に一括で購入する経費	500,000円以内

※母子父子寡婦福祉資金、日本学生支援機構の奨学金、その他金融機関等からの貸付が利用できる場合は、その貸付が優先となります。
 ※低所得世帯の基準については、お問い合わせ下さい。

■申込・お問い合わせ

喜多方市社会福祉協議会
 TEL 0241-23-3231

新潟県糸魚川市における大規模火災義援金

平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模災害により、多くの家屋が焼失する等の被害が発生しました。被害に遭われた方々を支援するために義援金を募集しておりますので、ご協力をお願いします。

なお、お寄せいただいた義援金は本会から新潟県共同募金会へ送金し、被災者へ配分される予定です。

受付期間
平成29年3月31日まで

社会福祉法人 福島県共同募金会
 喜多方市共同募金委員会



介護ワンポイント講座

ベッドについて

お年寄りがぐっすりと感じ持ちよく眠れる環境を。介護をする人にもゆとりが生まれ、毎日を元気に過ごせます。



- ◆できれば高さが調節できるベッドを。
- ◆ひとりで寝起きできる場合は、ベッドは立ち上がる時に足に力をかけられる高さに。
- ◆介護者がかがまなくてもよいように、介護時はベッドの高さを高くします。
- ◆硬めのマットレスを使い、掛け布団は軽いものを。
- ◆転落を防ぐために、手すりや柵をつけます。

【参考】絵で見るゆうゆう介護

「寝たきり」を防いで自立する老後を 監修/鎌田ケイ子



お知らせ - INFORMATION 2 -

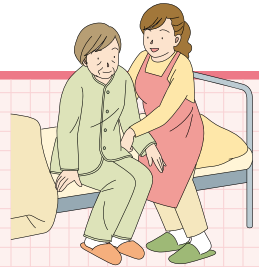


●●●平成28年度在宅介護教室のお知らせ●●●

対象	在宅で家族を介護されている方・今後の家族介護に不安を感じている方			
日時・コース	喜多方コース	平成29年2月23日(木) 9:00~15:00 集合場所:市総合福祉センター	塩川コース	平成29年3月7日(火) 9:00~15:00 集合場所:塩川いきいきセンター
内容	『入所施設を知ろう! 概要説明と施設見学』 ・各コース4~5箇所の種別の違う入所施設を見学します ・移動は本会の福祉バスを利用します			
参加定員	各コース 15名(定員になり次第締め切ります)			
参加料	500円(弁当代)			
申込	2月1日(水)より喜多方市社会福祉協議会本所で受付します。 ☎ 0241-23-3231			

喜多方市介護の職場体験事業のお知らせ

喜多方市社会福祉協議会では、介護の仕事に興味はあるけど、ちょっと自信がない方や、施設に就職を希望しているけど、どこが良いか迷っているという方などを対象に「介護の職場体験事業」を実施しています。介護の分野で働く仲間が一人でも増えるよう、多くの皆さんの参加をお待ちしています。



体験事業の対象者

○介護の仕事に興味、関心があり喜多方市内の施設や事業所で職場体験が可能な65歳未満の方
(※居住地は問いません ※学生の場合はお問合せください)

体験できる施設・事業所

○喜多方市内で、この事業の受入施設として登録している介護施設や事業所

職場体験の内容

○1回 2日~3日 1日あたり6時間程度
○介護サービスの補助、入所されている方との交流、レクリエーション
掃除・洗濯などの日常業務の補助、施設等職員との意見交換など

料金

○体験料は無料です。(体験に対する報酬もありません)
○但し、万一の事故に備えてボランティア保険に加入していただきます。(自己負担:350円程度)

申し込み方法・体験実施までの流れ

○喜多方市社会福祉協議会(本所・支所)に備え付けの申込書に記載し、お申込みください。
○本会職員が、体験希望者と希望する施設と連絡調整のうえ、実施日を決定しお知らせします。
○体験終了後は、簡単なアンケートにお答えいただきます。

申込み・お問合せ 社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会

〒966-0043 喜多方市宇上江 3646-1
☎ 0241-23-3231

平成29年度 喜多方市高齢者生産活動センター新会員募集

募集期間 H29.3.1~H29.3.31

募集資格 市内在住者で60歳以上

募集人員 各グループ 10名程度

費用 年会費及び材料費

☆陶芸グループ

(週2回~1班は火・木曜日、2班は水・金曜日)
地元「宮津の粘土」などを使って花器や茶碗、皿などを作陶し、販売しています。

☆手芸グループ(毎週火曜日)

吊るし雛・編み物・バッグ・パッチワーク・起し上がり小法師などを製作販売しています。

☆押し花絵グループ

(月3回程 金曜日)
乾燥花々の押し花で、しおりや額絵、ブローチ、絵ローソクなどを製作販売しています。

☆織物グループ(毎週木曜日)

卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バックなどを製作販売しています。

☆園芸グループ(毎週火・木曜日)

園場や温室にて花木を栽培し、販売しています。

☆菌茸グループ

(春から秋の40日程度)
椎茸を、原木に菌打ち作業をして栽培し、生椎茸・乾燥スライス加工などにして販売しています。

☆わら工芸グループ

(10月から12月を中心とした50日程度)
わらやスゲを使って、しめ縄や玄関飾り・猫ちぐらなどを製作販売しています。

* 現グループ数7グループ、他に2つのサークルがあり会員在籍者141名で、グループでの生産活動のほか生産活動センターまつり(6月)、各種イベントへの出展や体験教室・グループ研修・交流会など、年間を通じて楽しく活動をしています。

■ 会費等は各グループにより異なりますので、詳細については、お問い合わせ下さい。

送迎バス運行コース

行き センター(8:50発)~①北町公園~②コープ東店~③市立図書館~④喜多方駅~⑤諏訪神社~⑥コメリ松山店~⑦JAいいで岩月店~⑧センター(9:35)

帰り センター(3:00発) 行きと逆コース
※曜日により多少コースが変更になることがあります。

お問い合わせ・申し込み先

喜多方市高齢者生産活動センター
喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1 ☎0241-24-2297



※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を活用させていただいております。